

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 840

事業名	地場産業(淡路瓦)活性化支援事業補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	商工振興費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	南あわじブランドの確立【商工業】			
	施策目標	異業種の連携により、地場産業の企業経営を革新し、高収益化と雇用の拡大をめざす			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業		業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 淡路瓦の知名度の向上と販売の促進		対象人数(人)		
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	淡路瓦の振興策としてテレビCM、新屋根材(耐寒瓦、融雪瓦、新和風瓦等)の研究開発を進める。また、新聞、専門雑誌、展示会を通じて淡路瓦の知名度の向上を図り、新たな販路開拓を目指す。				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 淡路瓦ブランドを浸透させるため近畿圏内を中心にテレビCMを放映、新たな販路開拓を目指すため、新屋根材(耐寒瓦、融雪瓦、新和風瓦<和風モダン>等)の実用化にむけての研究開発、施工実証実験を進める。また、住宅フェア等展示会への出展参加、パンフレットの製作、講演会の開催。				
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 阪神淡路大震災以降、工業住宅の伸展や長引く需要の低迷により、いぶし瓦の生産枚数はピーク時の4割まで落ち込んでいる。また、原油価格の高騰により、事業所の経営を非常に圧迫しており、新たな販路開拓に迫られている。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(淡路瓦工業組合)		
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から					

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	テレビCM・研究開発協議会、施工実証実験、淡路瓦のPRに要した回数	指標単位 回			
	指標説明 (指標算出方法等)	淡路瓦工業組合が実施した淡路瓦のPR、研究開発に要した回数				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	-	136	13		
	実績値	-	136			
	達成度 (%)	-	100.0	-	-	
	目標値設定の考え方	19年度 テレビCMの放送回数 20年度 研究開発及び施工実証実験回数				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	淡路瓦の生産枚数	指標単位 千枚			
	指標説明 (指標算出方法等)	淡路瓦の生産枚数 (淡路瓦工業組合調べ：いぶし瓦、陶器瓦)				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	91,752	91,752	91,752	91,752	
	実績値	91,752	76,329			
	達成度 (%)	100.0	83.2	-	-	
	目標値設定の考え方	平成18年度の生産枚数 ( 91,752千枚 ) を目標値とする。				
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	0	8,400	8,000	4,000	
	テレビCM		8,400			
	新屋根材の研究開発			8,000		
	淡路瓦のPR費用				4,000	
	財源 (千円)					
	国					
	県		4,000	4,000	2,000	
	起債					
	その他		2,400	2,000	1,000	
	一般財源[A]	0	2,000	2,000	1,000	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	0	2,000	2,000	1,000		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	-	-	-	-		
受益者人数( 125 ) 1人当り経費(千円)	0.0	16.0	16.0	8.0		
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	-	100.0	-	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成19年度は、淡路瓦工業組合において予算の範囲内で計画通りに実施されて、テレビCMによって淡路瓦のブランドを浸透させる。					自己評価 (5点評価)
						3
有効性	成果指標目標達成度	%	-	83.2	-	-
	成果向上率	%	-	-	-	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 淡路瓦を普及させ販売促進を図るため、市が淡路瓦工業組合が実施する事業に補助する。					自己評価 (5点評価)
						3
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	-	14.7	-	-
	効率性増減率	%	-	-	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 淡路瓦工業組合においては、様々な事業を積極的に取り組んでいるが、淡路瓦の生産枚数が年々減産しており成果が現れにくい。					自己評価 (5点評価)
						3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) いま、瓦産業は厳しい現状の中、市の経済に影響をおよぼす恐れがある。今後も、市の経済を良くするためにも、瓦業界が取組む事業に補助する必要がある。					自己評価 (5点評価)
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 成果が現れにくい、市の経済を良くするためにも、また雇用の確保から、今後も継続して実施していく必要がある。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	補助事業での成果品を販路に乗せることを目標に国内へのPR活動を継続的に進めていく。	瓦業界の低迷に歯止めをかけるため、今後も事業展開に補助が必要である。
(現状維持以外の改善方法)	本事業の事業費を減額しつつ、別途「JAPANブランド育成支援事業」により海外市場への販路拡大を図ることにより、相乗効果を期待する。	
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 瓦業界の低迷がより加速し、市の経済面また、雇用面に悪影響をおよぼすと思われる。	